

東京混声合唱団

第219回定期演奏会

TOKYO PHILHARMONIC CHORUS

2009年10月30日(金)19:00開演(18:30開場)

東京文化会館小ホール

指揮 松原千振/ジョン・ワッシュバーン

Conductor : MATSUBARA Chifuru, Jon WASHBURN

舞台監督 中村眞理

(東京混声合唱団 Tokyo Philharmonic Chorus)

メンデルスゾーン(生誕200年)とその楽派

■メンデルスゾーン 作曲

Felix Mendelssohn-Bartholdy (1809-47)

主よ、祝せられたまえ(夕べの祈り)

Jube Domine - Abendgebet (1822)

■コルネリウス 作曲

Peter Cornelius (1824-74)

愛の玉座、善の星

Thron der Liebe, Stern der Güte (1872)

■スタンフォード 作曲

Charles Villiers Stanford (1852-1924)

マニフィカト(二重合唱のための)

Magnificat for double choir (1918)

■マルティヌー 作曲 — たんぼぼのロマンス(ソプラノと二重合唱のための室内カンタータ)

Bohuslav Martinu (1890-1959): Romance z Pampelisek (1957)

■マリー・シェーファー 作曲 — ナルキッソスとエコーの神話

R. Murray Schafer (1933-)

The Myth of Narcissus and Echo (2009, world premiere)

オウィディウス『変身物語』より

(委嘱作品・世界初演)

シェーファーの新作は風、水、そして愛を歌うシアター・ピース。
—ヴァンクーヴァー室内合唱団をむかえて

(ヴァンクーヴァー室内合唱団 Vancouver Chamber Choir)

カナダの現代作品 Canadian Contemporary Music

■ズィンク 作曲

Andrew Zinck

アニュス・デイ

Agnus Dei

■ワッシュバーン 作曲

Jon Washburn

さくら

SAKURA (Cherry Blossoms)

■マリー・シェーファー 作曲

R. Murray Schafer (1933-)

ガムラン

Gamelan

(東京混声合唱団+ヴァンクーヴァー室内合唱団)

■ウィラン 作曲

Healey Willan (1880-1968)

天使の軍勢への呼びかけ

An Apostrophe to the Heavenly Hosts (1921)

[前売り・問い合わせ]

東京混声合唱団事務局 〒160-0005 新宿区愛住町23番地 ヘルックス新宿ビルⅡ 6F

TEL03(3226)9755 FAX 03(3226)9882 <http://homepage3.nifty.com/TOUKON/>

電子チケットぴあ Pコード 332-272 TEL0570(02)9999 CNプレイガイド TEL0570(08)9990

ローソンチケット Lコード 38371 TEL0570(000)407

東京文化会館チケットサービス TEL03(5685)0650

東京コンサーツ <http://www.tokyo-concerts.co.jp/>

(東京コンサーツHPで予約をして、セブンインプンで支払い、受け取りができます。)



平成21年度文化庁
芸術創造活動特別推進事業

公演制作—小林信一 デザイン—小幡堅

■松原千振 MATSUBARA Chifuru (指揮)

東京混声合唱団常任指揮者。1951年長野県生まれ。国立音楽大学卒。渡欧。シベリウスアカデミー、マスタークラスを修了。合唱指揮法をエーリック・エーリクソン、ダン・ウーロフ・ステーンホルンドに師事。1978年からフィンランドを中心に北欧及びバルト諸国で活動。ヘルシンキ大学男声合唱団、フィンランド放送室内合唱団などを指揮。1987年から同国で発見された膨大な曲数にのぼる中世の単旋聖歌について、その解説を含む復元作業をフィンランド放送協会から委嘱され、その整備、蘇演に当たる。なお、このために同放送協会は12人の古楽合唱団(セートゥス・ノステル)を編成し提供している。

1988年から、バルト海諸国のプロ合唱団と共演し、エストニア・フィルハーモニー合唱団、ラトビア放送合唱団、ヴァンクーヴァー室内合唱団等の客演指揮者を務めている。

1997年東京混声合唱団常任指揮者に就任。1997年から4度にわたる全ての海外公演(スウェーデン、フィンランド、エストニア、カナダ等)を指揮。

■東京混声合唱団 TOKYO PHILHARMONIC CHORUS

1956年、東京芸術大学声楽科の卒業生により創設。コンサートの開催を演奏活動の中心に置き、広範な分野の合唱作品の開拓と普及に取り組んでいる。創立以来行っている、作曲委嘱活動による作品は191曲をかぞえ、海外作曲家への委嘱も、ラウタヴァーラ、マリー・シェーファーなど注目作の誕生を見た。文化庁芸術祭大賞、音楽之友社賞、毎日芸術賞、京都音楽賞、創立20周年企画「合唱音楽の領域」によるレコード・アカデミー賞などを受賞している。

レパートリーはルネサンス、古典派、ロマン派、現代、そしてわが国の作曲界からは湯浅譲二、三善晃などの重鎮から若手作曲家までの多彩な作品。

年間200回におよぶ国内公演のほか、内外のオーケストラやオペラとの共演、ラジオ、テレビへの出演がある。海外では、1979年アセアン5ヶ国、1987年、創立30周年記念としてニューヨークほか7都市でのアメリカ公演。1997年、世界合唱連合の招きで渡欧し、スウェーデン、ベルギーで6公演、2000年エストニア、フィンランド(国際音楽祭)で4公演、2002年カナダの国際合唱祭で4公演、いずれも絶賛を博した。2006年、創立50周年を迎え、アニヴェサリィコンサートと全国各地で10回の定期演奏会、10回の特別演奏会、ヨーロッパ(ラトヴィア、エストニア)公演を開催。

これらのコンサートの成果に対して2007年3月、第38回サントリー音楽賞と第25回中島健蔵音楽賞を受賞した。



■ジョン・ワッシュバーン Jon WASHBURN (指揮)

ヴァンクーヴァー室内合唱団の指揮者・芸術監督。熟練した合唱の技術と解釈によって国際的に知られており、客演指揮者やマスタークラスなどの講師として世界中から招かれている。作曲、編曲、楽譜編集の分野でも活躍し、作品の多くは出版され、世界各地で演奏・録音されている。イリノイ大学で合唱指揮の学位を得たのち、ルネサンスやバロックの音楽に親しむ。ヴァンクーヴァー古楽協会(現アーリー・ミュージック・ヴァンクーヴァー)の創立に参加。以来多くの合唱団に客演しており、アメリカのフェニックス・バッハ合唱団の芸術監督を6年間つとめた。現代音楽にも積極的で、国内外の作曲家による約200曲を委嘱・初演している。サイモン・フレーザー大学のレジデンスなど、教職の経験も長い。受賞歴も豊富で、生涯にわたる合唱音楽への貢献によって、2001年にカナダ勲章を、翌年にはエリザベス女王即位50年記念メダルを授与されている。

■ヴァンクーヴァー室内合唱団 Vancouver Chamber Choir

1971年指揮者ジョン・ワッシュバーンにより結成された、カナダを代表するプロの声楽アンサンブル。多彩なレパートリーとすぐれた演奏によって、国際的に高く評価されている。1998年マーガレット・ヒルズ賞を、2000年ルイス・ポトウ賞などを受賞。聖歌から民謡まで、古典から前衛まで、アカペラからオーケストラやジャズ・トリオとの共演までとレパートリーも広い。210を超える合唱曲を委嘱・初演。カナダ国内はもとより、アメリカ、ヨーロッパ、アジアにもたびたび演奏旅行を行い、国際的な名声を博している。1994年宝塚国際室内合唱コンクールで金賞と大賞受賞。音楽教育にも積極的に参加。上級合唱指揮者のための全国指揮者シンポジウムをはじめ、多くのワークショップに出演。また著名なアンサンブルや指揮者との共演、放送出演も多い。CD40点以上の録音やをリリースしており、うち数枚はR・マリー・シェーファー、ラミンシュをはじめとするカナダ人作曲家の作品。1995年発表のヒーリ・ウィランのディスクは、ジュノー賞候となり、優秀合唱曲録音賞受賞。新譜には、(Finding the Still Point) (Unexpected Gifts) 等の癒しのための音楽。東京混声合唱団とは2007年「姉妹関係」を締結している。



お問い合わせ (財)合唱音楽振興会 / 東京混声合唱団事務局

〒160-0005 新宿区愛住町23番地 ヘルックス新宿ビルⅡ 6階 TEL. 03-3226-9755 FAX. 03-3226-9882
http://homepage3.nifty.com/TOUKON